

第90期

中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



SECカーボン株式会社

証券コード 5304

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、平成21年9月30日をもちまして、第90期事業年度中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、1株につき8円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



取締役社長 **大谷民明**

事業の概況

当中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、政策効果の下支えもあって生産・輸出の持ち直しから最悪期を脱したと見られるものの、企業業績の回復に力強さが感じられず、円高の進行もあいまって製造業の設備投資は大幅に減少しており、引き続き厳しい状況のまま推移いたしました。

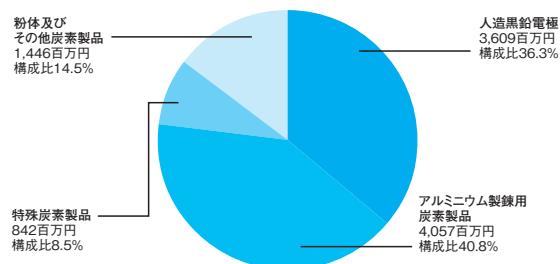
また、当社グループの主要ユーザーの電炉鋼業界をはじめ特殊炭素製品の需要家におきましても、世界的な需要減少に対応するため、減産を継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格などのコスト増加や需要の大幅な減少に対応すべく、製品価格の改定、生産性向上などに全社一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、全般的な販売数量の減少が影響し、前年同中間期の業績を下回りました。

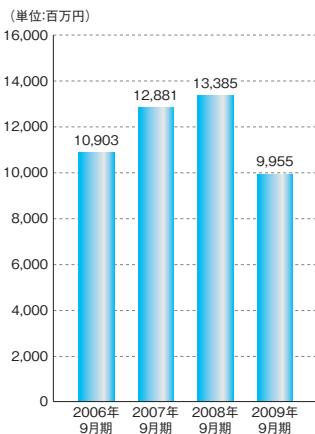
この結果、当中間期の業績は、売上高9,955百万円（前年同中間期比25.6%減）、営業利益1,281百万円（前年同中間期比48.6%減）、経常利益1,272百万円（前年同中間期比52.8%減）、中間純利益752百万円（前年同中間期比52.0%減）となりました。

連結売上高構成比

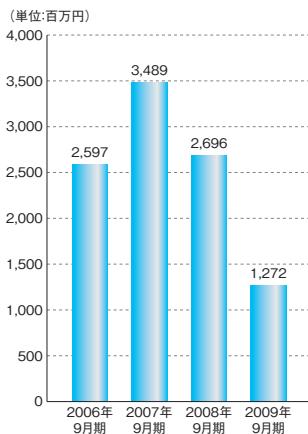


当社グループの業績および財産等の状況の推移

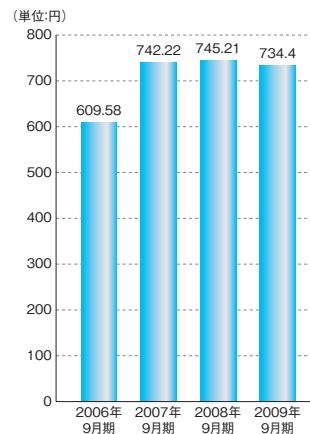
● 連結売上高



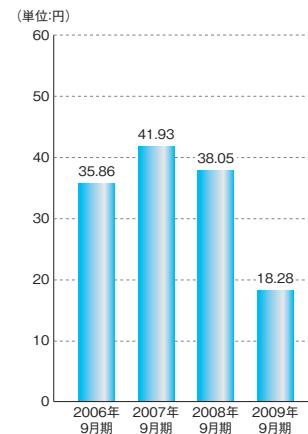
● 経常利益



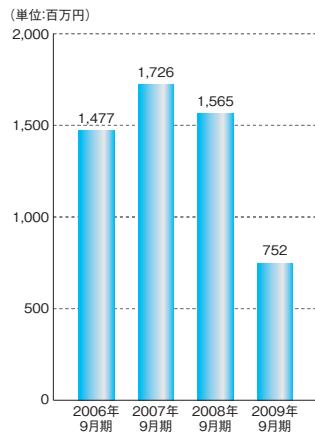
● 1株当たり純資産



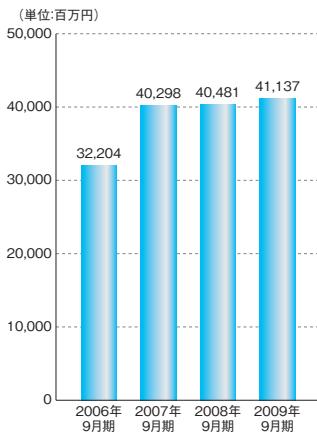
● 1株当たり中間純利益



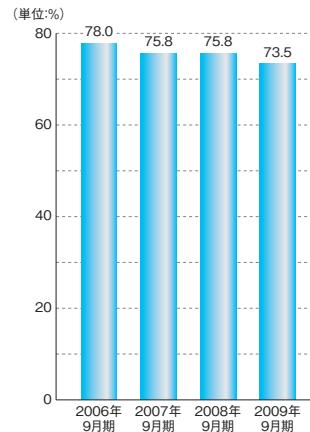
● 中間純利益



● 総資産



● 自己資本比率



中間連結貸借対照表

平成21年9月30日現在

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	20,705	流動負債	8,384
現金及び預金	887	買掛金	2,074
受取手形及び売掛金	5,630	短期借入金	4,001
商品及び製品	3,395	リース債務	9
仕掛品	9,353	未払費用	346
原材料及び貯蔵品	1,091	未払法人税等	523
繰延税金資産	131	未払消費税等	0
その他	225	賞与引当金	291
貸倒引当金	△11	設備関係未払金	751
		その他	386
固定資産	20,431	固定負債	2,532
有形固定資産	14,179	リース債務	21
建物及び構築物	3,607	長期未払金	31
機械装置及び運搬具	7,493	繰延税金負債	632
工具、器具及び備品	171	退職給付引当金	1,332
土地	1,301	環境対策引当金	515
リース資産	28		
建設仮勘定	1,577	負債合計	10,917
無形固定資産	73	(純資産の部)	
投資その他の資産	6,178	株主資本	28,253
投資有価証券	5,948	資本金	5,913
繰延税金資産	0	資本剰余金	5,247
その他	237	利益剰余金	17,228
貸倒引当金	△7	自己株式	△135
		評価・換算差額等	1,961
		その他有価証券評価差額金	1,955
		繰延ヘッジ損益	6
		少数株主持分	4
資産合計	41,137	純資産合計	30,219
		負債純資産合計	41,137

(金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

中間連結損益計算書

平成21年4月1日から
平成21年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	9,955
売上原価	7,316
売上総利益	2,639
販売費及び一般管理費	1,357
営業利益	1,281
営業外収益	152
受取利息	0
受取配当金	63
雑収入	88
営業外費用	161
支払利息	11
雑支出	150
経常利益	1,272
特別利益	4
貸倒引当金戻入額	4
特別損失	27
固定資産除却損	27
税金等調整前中間純利益	1,249
法人税、住民税及び事業税	497
少数株主損失	0
中間純利益	752

(金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

中間連結株主資本等変動計算書

中間連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：百万円）

項目	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成21年3月31日残高	5,913	5,247	16,805	△ 134	27,832
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 329	—	△ 329
中間純利益	—	—	752	—	752
自己株式の取得	—	—	—	△ 1	△ 1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	422	△ 1	421
平成21年9月30日残高	5,913	5,247	17,228	△ 135	28,253

項目	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成21年3月31日残高	1,365	—	1,365	4	29,202
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△ 329
中間純利益	—	—	—	—	752
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	589	6	596	△ 0	595
中間連結会計期間中の変動額合計	589	6	596	△ 0	1,017
平成21年9月30日残高	1,955	6	1,961	4	30,219

（金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。）

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間 (ご参考)
		平成21年4月1日から平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 344	1,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,373	△ 2,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		667	6
現金及び現金同等物に係る換算差額		12	8
現金及び現金同等物の増減額		△ 1,037	△ 666
現金及び現金同等物の期首残高		1,925	2,698
現金及び現金同等物の期末残高		887	2,031

（金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。）

トピックス

●『J-PARCニュートリノ実験施設』への当社特殊炭素製品の使用について

平成14年の小柴昌俊東京大学名誉教授のノーベル物理学賞受賞で一躍話題になりました『ニュートリノ』の研究ですが、同氏は、岐阜県飛騨市の鉱山の地下に3,000トンの水チェレンコフ検出器を完成させて、超新星や太陽から来るニュートリノという素粒子を捉えることに成功したものです。

高エネルギー加速器研究機構（KEK）と日本原子力研究開発機構（JAEA）が共同で茨城県東海村に建設しました『J-PARCニュートリノ実験施設』の主要設備のひとつである『ハドロン吸収体』と呼ばれる装置のグラフィットブロックに当社の特殊炭素製品が使用されております。

当施設では、大強度のニュートリノビームを人工的に生み出して、検出器に向かって打ち込み、ニュートリノの謎を解明する実験を行い、『ハドロン吸収体』は、ニュートリノ以外の素粒子をビームライン内に遮断する役割を果たします。

この際に発生する多量の熱を効率よく冷却するため、大型グラフィットブロック7個をひとつのアルミ冷却板に取り付けたモジュール14台、合計で98個のブロックを用いています。

高さ5.3m、総重量75tにもなる巨大な装置ですが、そのモジュール間の良好な熱伝導を確保するため、製作には100ミクロン単位での精度が要求されており、当社の製造・加工・検査技術の粋が遺憾なく発揮されております。



（高エネルギー加速器研究機構、日本原子力研究開発機構およびJ-PARCからの感謝状）

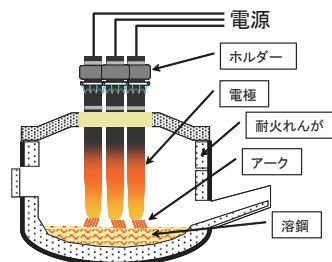
当社製品の用途

株主様、投資家の皆様より当社製品の用途についてのお問合せをいただくことがございますので、今回は人造黒鉛電極とアルミニウム製錬用カソードブロックがどういったかたちで使用されているかをご紹介します。

● 製鋼用人造黒鉛電極（以下電極）

電極は、製鋼用電気炉（アーク式電気炉）に用いられております。電極の直径は150ミリから、大型炉やDC炉（直流炉）で 사용되는700ミリや750ミリといった太物サイズまであります。

アーク式電気炉とは、電極と鉄および鉄スクラップとの間にアークを飛ばして、その熱で溶解・精錬する方式で、アーク式電気炉には交流式と直流式があります。



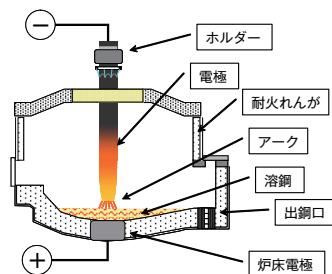
(1) 交流式

図は三相炉で、三相の交流電流を3本の電極に流します。

電極とスクラップの間で電位差が生じることによって、アークが発生します。

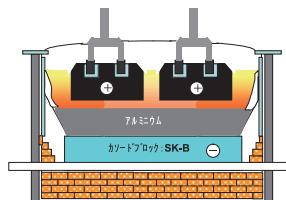
(2) 直流式

炉の天井にマイナス電極、下部に鉄スクラップまたは溶鋼と直接接触するプラス電極を置くという構成です。電極はマイナス極として使用し、導電体であるスクラップはプラス電極と接触させることで、プラス極としての役割を果たします。これらの中に電流を流すことでアークを発生させます。



● アルミニウム製錬用炭素製品（カソードブロック 以下SK-B）

アルミニウムは、下図のような電解炉でアルミニウムの製錬原料であるアルミナを陽極（プラス電極）と陰極（マイナス電極）の間に電解浴中に連続投入し、数十万アンペアの電流を流しその電気分解によって製造されます。SK-Bはこの電解炉の底に並べられ、マイナス電極（カソード、陰極）として用いられています。



アルミニウム製造用電解炉の断面図

アルミニウムは、かつては日本でも盛んに生産されていましたが、アルミナの電解には大量の電力が必要なため、今日ではその殆どが電力費の安い海外で作られており、当社のSK-Bにつきましても100%輸出しております。



炉の底に並べられている電解炉スタート前のSK-B

お知らせ

● 配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、配当金領収証によるゆうちょ銀行または郵便局でのお受け取りと口座振込がございます。お受け取りは、**安全で確実な口座振込をお勧めしております**。なお、口座振込には以下の方法がございます。

(1) 株式数比例配分方式

証券会社等に開設された口座で保有する銘柄の配当金を受領する方法。複数の証券会社等で保有している場合には各証券会社等の保有残高に応じて按分された配当金が各証券会社等のお取引口座に支払われます。なお、特別口座に株式をお持ちの場合はご利用できません。

(2) 登録配当金受領口座方式

保有するすべての銘柄の配当金をあらかじめご指定の金融機関口座で受領する方法。複数の証券会社等に口座があり、その中のいずれかで金融機関口座を登録すると登録された金融機関口座に配当金が支払われます。なお、複数の証券会社等でそれぞれ金融機関口座を登録された場合は、最新の登録金融機関口座が有効となります。

(3) 個別銘柄指定方式

保有する銘柄ごとにご指定の金融機関口座で受領する方法。

● 注意事項

- ・ ご選択いただいたお受け取り方法が他の証券会社等の口座において既に指定したお受け取り方法と異なる場合、新しく指定したお受け取り方法が優先されます。
- ・ 配当金のお受け取り方法は、複数の証券会社に保有されていても1個人につき1つの方法となります。

● お手続きについて

- ・ 証券会社等の口座に当社株式が記録されている株主様お取引先の証券会社等へお問い合わせください。
- ・ 特別口座に当社株式が記録されている株主様三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問い合わせください。

● 中間配当決議通知はがきの郵送廃止について

中間配当に関するご案内につきましては、昨年まで、株主の皆様へ中間配当決議はがきをお送りすることによって行っていました。本年から、同はがきの郵送を廃止させていただきます。

なお、引き続きプレスリリースおよび当社ホームページにてご案内させていただきますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページのURL

<http://sec-carbon.com/news/index.php>

● 特別口座管理機関および株主名簿管理人の事務取扱場所移転について

当社の特別口座管理機関および株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社の事務取扱場所が、10月13日から下記に移転しておりますので、お知らせします。

- (1) 移転先事務取扱場所 〒541-8502
〔新店舗場所〕 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- (2) 移転先周辺案内図
〔新店舗周辺案内図〕



単元未満株式を所有されている株主様へ

当社では株主の皆様へのサービス拡充のため、従来からご利用いただいております単元未満株式の買取制度に加え、「単元未満株式の買増制度」を導入いたしましたのでぜひご利用ください。

● 単元未満株式の買取請求制度について

買取請求制度とは、株主様がご所有の単元未満株式を当社に対して時価での買取りのご請求を行っていただく制度のことをいいます。そのお手続きにつきましては下記内容をご確認ください。

● 単元未満株式の買増請求制度について

買増請求制度とは、株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるよう、当社に対して時価での売渡しのご請求を行っていただく制度のことをいいます。そのお手続きにつきましては下記内容をご確認ください。

● 買増請求受付停止期間について

以下の場合につきましては買増請求のお取扱いができませんので、予めご了承ください。

- ・毎年3月31日または9月30日から起算して10営業日前から3月31日または9月30日まで。
- ・その他株主確定日から起算して10営業日前から当該株主確定日まで。
- ・当社または証券保管振替機構が必要と認めるとき。

● お手続きについて

- (1) 特別口座に口座をお持ちの株主様につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部でのお手続きとなります。
- (2) 証券会社等に口座をお持ちの株主様につきましては、口座を開設している証券会社等でのお手続きとなります。

会社概要

商号	SECカーボン株式会社
設立	昭和9年10月23日
資本金	5,913,872,864円（平成21年9月30日現在）
発行済株式総数	41,388,682株（平成21年9月30日現在）
主要製品	人造黒鉛電極 アルミニウム製錬用炭素製品 特殊炭素製品 粉体及びその他炭素製品

事業所

本社	〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江一丁目2番6号 尼崎フロントビル6階 TEL(06)6491-8600
東京事務所	〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目15番3号 ヒューリック江戸橋ビル7階 TEL(03)3279-0700
名古屋営業所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル8階 TEL(052)231-5765
京都工場	〒620-0853 京都府福知山市長田野町三丁目26番地 TEL(0773)27-2411
岡山工場	〒704-8147 岡山県岡山市東区正儀4700番地の2 TEL(086)946-1500

役員（平成21年9月30日現在）

取締役社長 （代表取締役）	大谷民明
常務取締役	鶴崎欣宏
常務取締役	佐近啓一
常務取締役	二宮博文
取締役	吉澤潔
取締役	江川和則
取締役	大谷壽一
監査役(常勤)	岩崎正敏
監査役(常勤)	鶴本照啓
監査役	岡和彦
監査役	早崎寛

(注) 1. 取締役のうち、大谷壽一は社外取締役であります。
2. 監査役のうち、岡和彦と早崎寛は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(住所が変更となっております。P12をご参照ください)
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
場合は日本経済新聞に掲載します。

証券コード 5304

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。